

非通電大腸ポリープ摘除(Cold polypectomy)に関する研究

1. 研究の対象

2014年8月以降当院で Cold polypectomy を受けられた方

2. 研究目的・方法

Cold polypectomy は欧米で始まった高周波通電を用いないポリープの摘除法であり、従来、行われている通電を用いた摘除法と比較し、摘除に伴う出血や穿孔のリスクが低いとされ、本邦でも広く採用されつつあるが、その有用性を含めた臨床的特徴は検証中である部分が多い。そこで、地方一般病院における現状を検証し、安全で効果的な Cold polypectomy 適応病変の選択法、技術の習得法を明らかにすることを目的に、当院で Cold polypectomy を行われた症例について、過去の診療記録、内視鏡レポートより検証する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、内視鏡レポート、病理診断レポート、副作用等の発生状況 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：静岡県磐田市大久保 512-3

電話：0538-38-5000

担当者の所属・氏名：磐田市立総合病院・山田貴教（研究責任者）